

サイクリングクラブ第53代基調方針案

【基調方針案】

第53代では、サイクリングクラブの活動を通して、協調性を養い集団生活の大切さを学び、大学生活をより充実した者とすることを目指す。

【会活動】

充実したサークル活動を行う為に、活動は原則全員参加とする。したがって、無断での遅刻・早退・欠席は射止めない。但し、冠婚葬祭、学業、病気、家庭の事情、交通機関の遅れの場合はこれを認めることとする。また、遅刻、早退、欠席の場合は速やかに執行に連絡し、その理由を述べるものとする。

サークル活動に関する連絡事項の伝達は主にメールを活用し応答がない場合等は直接、活動後に伝達するなどして徹底を図る

旅行部門ではトレーニング、講習会、合宿を主な活動としていく。またトレーニングの延長として例年通り大会を行う

競技部門では学連のレースを中心としてその他のホビーレースにも積極的に参加する。

これらの会活動を通して、会員間の親睦を深めサイクリングを行う上での体力・筋力をつける事を目標とする。

部室の使用は学校の規則である館内禁煙や部室・ラウンジの清掃を徹底する。清掃徹底のため、清掃当番を決め、活動後に毎回清掃を行い快適な環境を維持する。

【ミーティング】

ミーティングは原則として、活動内に部室または教室にて行う。今後の活動予定の確認、その他連絡事項を随時会員に知らせ、それらに関する質問も受け付ける場とすることで、より正確な伝達をできる場を設ける。また、愛好家行事・レースの応援への参加の呼びかけやその感想・報告を述べる場としても活用していく。編集物の配布・

部費等の回収もこの場において実施していく

=旅行部門=

【合宿】

・納会合宿

4年生にとって最後の合宿。1年生は初めてのリーダーを、2年生は執行、責任者を務めることによって、代替わりの意味を含む。

・新歓合宿

1年生にとって初めての合宿であり、各学年と交流を深めながら、自転車旅行を楽しんでもらうための2泊3日の合宿。

・強化合宿

長期合宿に向けての体力作りを目的とした2泊3日の合宿。班員と協力して峠を登ることで自己の体力を理解するとともに、共通の達成感を味わってもらう意味を含む。

・プレキャンプ

夏合宿に入る前の予行練習として、主に1年生にキャンプ生活を体験してもらうことを目的とした1泊2日の合宿

・長期合宿

春と夏の年2回、各班自由にコースや日程を計画し行う、旅行部門におけるメインの合宿。各地の人々との出会いやふれあいを通し、また、班員と協力し様々な経験をすることで、自己を成長させるとともに、沢山の思い出を作ってもらうことを目的とする。

※納会合宿、初めラン、新歓合宿、強化合宿は競技部門も参加できる。

【トレーニング】

会員が安全かつ楽しいトレーニングを行うことを考え、トレーニングを通して会員同士の親睦を深め、長期合宿に向けての体力の維持・向上を図ることを目的とする。

原則として毎週水曜・土曜に行う。

ただし雨天時の屋外活動は中止するものとする。これは雨天時に行う活動に対して金銭面で参加が難しくなる者がでてくるためである。またトレーニング中止の連絡は遅くても当日の10時までに会員に通知するものとする。

大会は、夏休みの終盤に行うサイクリング大会と9月ごろに行うBBQと春休み序盤に行うウォークラリーの三度行う予定である

【備品】

備品に関し、管理、整備、貸出し、新規購入または、廃棄の検討を行う。

○車種

サイクリング活動に適した機能を有するものとする。購入予定者は執行部と協議し車種を決定する。

○安全面

走行時の安全を確保するため、行事前に安全面の注意を呼びかける。また、ライト・セーフティランプの装着、ヘルメットの着用の義務づけ、走行前にはそれらが適切に動作するかどうかチェックを徹底する。走行中には、事故やけがを未然に防ぐために、サイン・声出しをする。

【講習会】

サイクリングクラブの活動をするうえでの知識を会員各自に身に付けてもらうように講習会を開く。講習会は以下の通りである。また、各講習会は執行と協力しあう。

〈輪行講習・ブレーキ講習・パンク講習・走行講習・安全講習・消防署講習・キャンプ講習・愛好会講習・会計講習・保険講習・競技講習〉

【愛好会】

サイクリングクラブは愛好会という大学側から認められた団体に属している。これにより同サークルは大学側から援助金という資金面、部室などの使用許可という施設等において援助を受けている。また、愛好会行事を通して多くの他サークルと交流できる。これらのことを全会員が認識し理解を深めてもらうために、愛好会講習を行い、年に数回ある愛好会行事への積極的な参加を勧めていく。また、行事ごとに事前・事後アンケートをとり、会員の声が反映されるよう努めていく。なお、リーダーズキャンプ、メンバーズキャンプ、リーダーズミーティングにおいて対象者は原則として全員参加とする。

また、年二回ある愛好会総会は全会員に出席義務がある。愛好会について真剣に考える貴重な機会であるため、積極的に参加することを望む。(欠席が認められるのは委任状を出した者のみ)

【会計】

入会金は 2000 円、部費は月 500 円。

部費の回収に関しては、全学年半年に 1 回収する。現役を引退しても、在学中は回収する。会員には公式行事の時に 11 月～3 月分と、4 月～10 月分の 2 回に分けてまとめて払うようにしてもらう。部費以外の行事等にかかるお金は集金袋を用いて回収する。また、回収日は事前にメーリスを回して回収の徹底を図る。それでもやむを得ずに集金を滞納したり、会計からお金を借りて返済しなかった場合には、サイクリングクラブに対して契約書を提出してもらう。なお、原則として、会計からお金は貸さない。

愛好会関連費に関しては、行事への積極的な参加を求めるために、合同キャンプ、メンバーズキャンプ、ラストキャンプ、リーダーズキャンプは最大半額程度の自己負担に抑えるように予定している。

競技部門に関しては、各都道府県自転車競技連盟登録費と日本学生自転車競技連盟登録費は全額負担する。レースの遠征費（レンタカー代・ガソリン代・有料道路代・宿代）と、レースエントリー代をレース毎に傾斜配分して援助する。レースへの旅行部門の応援費はその都度参加人数等の兼ね合いで決めて援助する。

【保険】

サークル活動に安心して専念できるよう、万が一の事故や怪我に備えて、会員全員にスポーツ安全保険と学生・こども総合保険の加入を義務付ける。

【編集】

サイクの活動に関する編集物を、後に見返した際、当時を思い出すことのできるような冊子の形にして作成する。印刷の関係上、両面に分けて書かずに、B5 の用紙に黒か青のペンで書いてもらう。

パソコンのメール（ワード形式）での提出も可能で、[送信先は mcc.cycling@gmail.com](mailto:mcc.cycling@gmail.com) となっている。メールでの提出期限は、用紙の提出期限の3日前となっており、提出者は編集者に連絡することとなっている。全員に提出期限を守ってもらえるよう徹底する。

【広報】

サイクリングクラブの活動を外部の方に広く知ってもらうために、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、ブログ等で情報発信を行う。また、OB・OG との交流の場や連絡手段としてホームページや SNS を利用する。また、広報の仕事は執行役である渉内に組み込むこととする。これは、広報という役職を作ってしまうと仕事柄二度手間になってしまい、円滑に仕事が進まなくなってしまうなどのリスクがあるためである。

【公式行事】

今期は以下の行事を公式行事とし、全会員参加とする。

<顔見せコンパ・新歓コンパ・初めラン・前期打ち上げコンパ・秋ラン・白金祭打ち上げコンパ・納会合宿・後期打ち上げコンパ・追い出しコンパ>

遅刻・早退・欠席については、連絡の徹底を求める。その際、コンパについては渉内に、それ以外は旅行主務に連絡する。